



地球温暖化防止について楽しく学ぶ 地球温暖化を考える日2023

6月3日、茅野市民館を会場に「地球温暖化を考える日2023」が開催されました。東海大学付属諏訪高校科学部によるサイエンスショーやデジタル紙芝居、映画上映（ディズニー作品「ウォーリー」）が行われ、参加者は楽しく地球温暖化防止について学びました。

サイエンスショーでは、液体窒素を使った実験を行うブースや振ると色が変化する液体を体験するブースなど、計5つのブースが設けられました。科学の世界の体験をきっかけに、地球温暖化のために自分でできることを考えました。



今シーズンの山の安全を祈願する 八ヶ岳開山祭

6月4日、第69回八ヶ岳開山祭が、赤岳山頂と北横岳山頂の2会場で開催されました。（写真は赤岳山頂会場の様子です。）

雲一つない青空が広がる絶好の登山日和の中、多くの山岳愛好者らが集い、登山シーズンの幕開けを喜びました。そして、今年1年間の山の安全を祈願しました。

開山祭終了後には、参加者に記念ピンバッジと赤嶽山神社のお札が配られました。皆さん嬉しそうに受け取り、リュックや帽子にピンバッジを付けたり、大切に持ち帰ったりしていました。



弥生時代の謎を紐解く多数の発見 永明中学校校庭遺跡 現地説明会

5月28日、永明中学校校庭遺跡の発掘調査の現地説明会が開催されました。市内外から約80名が参加し、文化財課の職員の説明に耳を傾けました。今回、調査が行われたのは、永明中学校校庭遺跡の西側にあたる茅野市社会体育館の建設予定地。調査では、住居址のほか、墓と考えられる完形の土器（つぼ、かめ）を埋めた弥生時代の穴4か所、石で周囲を長方形に囲った穴1か所が確認されました。石で長方形に囲った穴は弥生時代後期に他に類例がないもので、墓と考えられていますが、これから詳しい調査が進められます。



美味しいお米がたくさん取れますように 多留姫文学自然の里 稲虫まつり・里まつり

6月3日、多留姫文学自然の里で、「稲虫まつり」と「里まつり」が開催されました。

稲虫まつりは、5月に田植えをした「神田」の稲の害虫を追い払い、豊作を願う伝統行事です。参加者は、中沢公民館で虫の絵を描いた旗を作り、太鼓を叩きながら神田まで行進し、あぜに旗を立てました。可愛いイラストの描かれたカラフルな旗が田んぼを囲みました。

里まつりは、多留姫神社の境内で行われ、八ヶ岳泉龍太鼓保存会による演奏や地元まつわる昔話などが披露され、参加者を楽しませました。